

[成果情報名] アスパラガス新品種「さぬきのめざめ」の茎葉管理技術

[要約] 「さぬきのめざめ」は第一側枝高が高いことから、茎葉の刈込みを行わず放任し、葉面積を確保することで収量を多くすることができる。

[キーワード] アスパラガス、さぬきのめざめ、茎葉管理

[担当] 香川農試・三木試験地

[連絡先] 087-898-0004

[区分] 近畿中国四国農業・野菜

[分類] 技術・普及

---

#### [背景・ねらい]

香川県農試で育成した「さぬきのめざめ」(平成14年度成果情報)は、「ウェルカム」に比べて萌芽が早く、収量・品質が優れている。今後、本品種の栽培面積を拡大し、産地形成を図るためには、本品種に適した栽培管理技術の確立が求められている。本品種は、「ウェルカム」と比較して、第一側枝の発生位置が高い特性を持っている。そこで、立茎した茎葉の刈込み高さについて検討する。

#### [成果の内容・特徴]

1. 夏秋芽収量は、茎葉の刈込み高さを120cm、150cm、放任と高く管理するほど多くなる。特に、秀品18g以上の太物の増収効果が高い(図1)。
2. 処理翌年の春芽収量は、夏秋芽収量と同様の傾向が見られ、刈込み高さを高く管理するほど多くなる(図2)。
3. 秀品18g以上の収量は、刈込み高さを高く管理するほど長期間多い水準で維持できる(データ省略)。
4. 夏秋芽で問題となっている異常茎の発生本数は、刈込み高さを高く管理するほど多くなる(図3)。
5. 秀品率は、茎葉の刈込みの有無や高さの違いによって差はない(データ省略)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 県下のハウス半促成長期どり栽培の作型に適用できる。
2. 茎葉の過繁茂防止、若茎の着色促進のため、地際から50cm以下に着生した側枝は除去する。
3. 通路側の茎葉は、内部が蒸れないように刈込み、通気性を良くする。
4. 倒伏防止のため、支柱は高くし、ネットは3段とする。

[具体的データ]

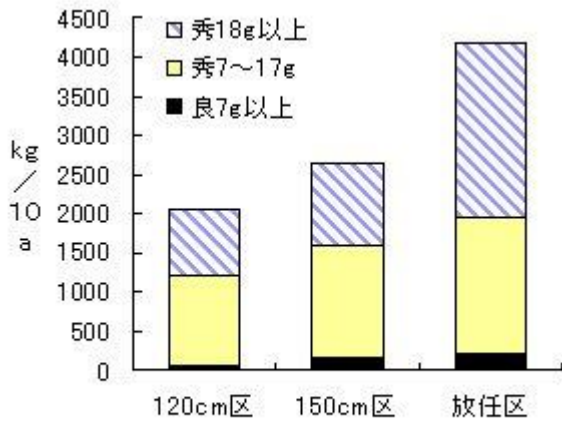


図1 夏秋芽収量(2年生株)

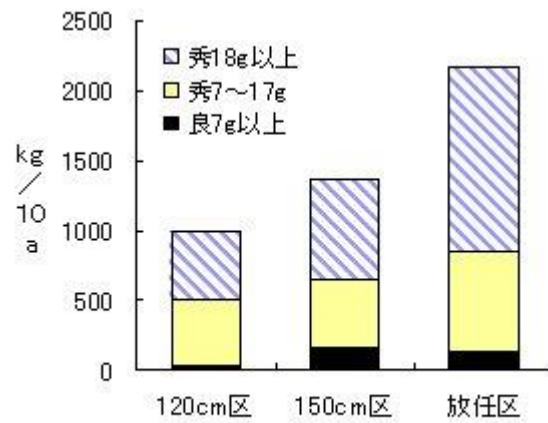


図2 春芽収量(3年生株)

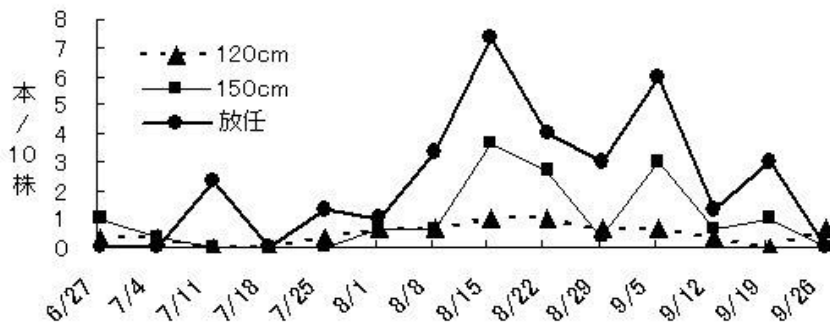


図3 異常茎の発生推移(2年生株)

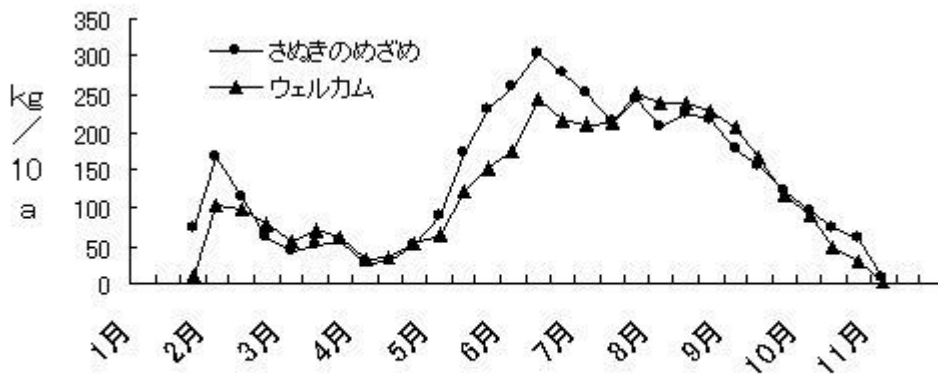


図4 現地試験ほ場における旬別収量(2年生株 仁尾町)

[その他]

研究課題名 : 超早どり・高品質アスパラガスの開発

予算区分 : 県単

研究期間 : 2001~2005年度

研究担当者 : 大矢啓三、加藤伊知郎、松崎朝浩